

(様式第2号)

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

令和7年4月30日

提出区分	実績	整理番号	1	課題区分	C
横断的な課題	大規模災害の経験を生かした自然災害に強い地域づくりの推進				
地域重点政策	防災・減災による安全安心な地域づくり				
実施機関	長野地域振興局			担当課	総務管理課
事業名	地域防災人材育成推進事業			所属	026-234-9531
				E-mail	nagachi-kenmin@pref.nagano.lg.jp
事業概要等	目的 (目指す姿)	長野地域は令和元年台風19号災害において、特に被害を受けた地域であり、また今後も発生する可能性がある激甚化災害に備える必要性が高まっている。 災害の発生時には、行政職員の対応だけでなく、地域住民自身の避難行動支援、避難所運営の能力強化が必要となってきたため、防災対策の知識向上を目的としたセミナーを開催し、行政職員の危機管理に対する資質向上と地域住民の防災意識の醸成を図る。			
	現状と課題	・地域社会の高齢化による防災の担い手不足 ・行政と住民が連携した災害対応の仕組みづくりができていない ・地域防災の仕組みとノウハウが周辺地域へと横展開できていない			
	内容 (変更後の内容)	市町村の講座開催ニーズに応じて、R5防災人材育成モデル地区形成事業に携わった防災人材・講師を招いて講演を実施する(市町村との共催)。 1 開催日 令和7年3月9日(日) 2 場所 坂城町文化センター 3 対象者 地域で防災対応の中心となる地区役員を務める住民など及び市町村職員 4 講師 西澤 淑恵氏(松代復興応援実行委員会 事務局) 古越 武彦氏(認定NPO法人 長野県NPOセンター 事務局次長) 5 内容 (1)松代地区における令和元年東日本台風被害からの復興活動等についての講義 (2)坂城町の地形や特性に合わせた防災についての講義 (3)上記の講義を踏まえた参加者同士のワークショップ 6 県全体の事業・制度等とのすみ分け(役割分担) 危機管理部で実施したモデル事業を管内市町村に横展開を図る。			
	事業期間	令和7年2月 ~ 令和7年3月			
事業費等	(単位:円)				
	事業を構成する細事業名等	実施内容	計画(実績)額	備考	
	講師及び坂城町との事業打合せ	防災人材育成事業(講義・ワークショップ)の内容等について事前に打合せなど	5,350	1h@5,350円×1h×1名	
	講義・ワークショップ	坂城町の地区役員を対象として災害発生時の避難所開設・運営についての講義及びワークショップを開催	74,578	①講師謝金64,200円・・・報償費(臨時、大学准教授級) 1h@5,350円×6h×2名 ②講師当日旅費7,378円・・・旅費 長野市内⇄坂城町役場往復2,085円×1名×1回 長野市内⇄坂城町文化センター往復3,149円×1名×1回 長野市内⇄坂城町文化センター往復2,144円×1名×1回 ③講師昼食代3,000円・・・需用費 1,500円×2名 ※当初、昼を跨がず、半日のみの講習会を2回行う予定だったが、市町村との日程が合わず、午前から午後にかけての1回のみとなり、昼食が必要となった。	
	合 計		79,928		

指標及び達成状況	成果指標	目標値	成果	達成状況
	講座への参加者数(1講座)	30名	18名	○ 達成
				○ 一部達成
				● 未達成
事業実績・成果	【実績】 ・3月9日、坂城町との共催により、地域住民、町職員を対象とした研修会を開催、地区役員18名が参加。 【成果】 ・講演では、松代地区でのモデル事業や自主防災活動のノウハウを提供し、自ら地域の課題を考えるためのワークショップを実施することにより地域における防災意識向上のきっかけとなった。			
今後の方向性	・令和元年度台風19号により被災した千曲川流域において、自主防災人材の育成を図り「逃げ遅れゼロ」「地震災害死ゼロ」に向けた地域の取組みを支援するため、他の市町村についても、自主防災支援等の取組み状況を把握し事業の方向性を検討する。			